

コミュニティ祭り

オリジナル・デコパージュ

柿沼 陽子

デコパージュとは十七、十八世紀頃、東洋工芸に見せられたベネチアの家具職人が、漆工芸を模倣したのが始まりと言われている歴史ある手工芸です。

十月十八日開催されたコミュニティ祭の展示会場に初めて私の作品を出品させていただきました。デコパージュの教室は、今年の七月から始まったばかりの新しい教室です。三ヶ月という短期間にも関わらず、生徒の皆様が心を込めて熱心に創作に取り組んで頂き、素晴らしい作品を展示することが出来ました。多くの方々に興味を持って見て頂いて、沢山の反響を、お寄せ下さいましたこと大変有り難くお礼申し上げます。これからも、技術を磨き来年は更にデコパージュの魅力を、お伝えできる作品を出展したいと一同はりきっております。



楽しいメロディ会

小野瀬 晟允

澄みきった晴天の下、祭りに参加し緊張しながら野外ステージに立ちました。ハーモニカの音は繊細なだけに、会場の皆様が届き、きれいに響き渡らせる事ができるのだらうかと考えました。与えられた十五分は長くも又短くもありましたが、私達の練習の成果を最大限に出せるかが一番大切と思い練習の時よりも、強く吹くよう促しました。終了後、大きな拍手と「きれいな音」と、お言葉が飛んできて大変嬉しく思いました。

本日の祭りに沢山の方々が増加されて、私達のハーモニカを聞いていただけ本当にすばらしい祭りであったと感じます。今後とも人と人とのつながりや、音楽を通して明るく潤いのある地域作りに、少しでもお役に立つ事が出来るよう頑張りたいと思っています。

最後になりますが、発表の場の提供を有難く、祭りに際し準備の方々のお骨折りに深く心から感謝いたします。ありがとうございます。ごさいました。



焼きそばコーナー

澤口 茂利

焼きそばコーナーは、例年通り700食の販売目標をたて、制作スタッフ23名体制で、あさひコミュニティまつり前日から材料等の仕入れを開始しました。まつり当日は朝8時からキャベツきざみに4名を割り当て、午前8時30分すぎから、焼きそばの焼きに入り、とりあえず午前11時頃に450食製作目標に各担当手伝っていたきました。最初一パックの分量を台秤で計量するのに時間を取られ、容器詰めめの呼ばれ、徐々に作業間隔が短縮され、



吸が合っつき、予定通り午前11時頃に、450食出来ました。ところが売れ行きが大変よく11時30分頃には在庫がギリギリになり、焼きと容器詰め作業が時間との闘いにならわって来ました。各担当者も精一杯頑張つて頂き、何とか12時過ぎには720食、出来て、完売いたしました。スタッフ一同の御協力に感謝致し度く存じます。来年以降の反省として、材料が当初予定より残りまじしたので、来年はもう少し無駄を減らすことが可能だと考えております。

金魚すくい

信田 啓之



広報委員会は、生命の貯蓄体操、木鶏クラブの皆様の協力の下、金魚すくいを担当しました。当日は十一時に開店後、一時は多くの方々に順番をお待ちいただくなど好評で、予定よりも三十分早く閉店しました。笑顔の子供たち、ちぎれた金魚たちは、きつと元気に育つていこう。来年に向けては、運営方法を工夫して待ち時間を少しでも減らすなど、今年以上に皆様にご満足いただける様にしたいと思ひます。

おでん、チョコバナナ

藤田 里美



初めての、みそおでん、チョコバナナでした。おでんのみそ作りに、よそに見学に行き勉強してきたり、チョコバナナの方は、計画を立てたときは、バナナも安かったのですが毎日、毎日、値上がりして、あげくのはては、店からバナナがなくなりました。まい

爆弾あられ

戸崎 好一

今年は昨年までお借りしていた機械と異なり、若干改善された機械でしたが、機械加工がよくないところがあり、あられを取り出す「ドン」のとき、こぼれるあられが多く出ました。又、パッキンがへたつていて最初の



3回はガス漏れがあり、炉の圧力が上がりませんでした。パッキンの予備がないので、取り外して、清掃し、当たり面を少しずらしたのでシールに成功しました。事前に入手した爆弾あられ機の取説を読んでいたのですが、不具合点が想定できたのでうまく行ったのでしよう。今年は全回数、よく膨らんでおり、あられの状態は「まあまあ」でした。味も砂糖の量を一六倍にしたので、よくなりましたが、まだ足りなかったようです。



城南中学校



城南小学校



旭小学校